

# 佐藤 仁志ゼミナール【経済-17クラス】

【題目】都市・地域の経済分析

【到達目標】経済学的思考で都市・地域問題を解決する

【講義内容】都市とは様々な人・企業・その他の要素が、空間的に限られた場所に集まったものである。そのため、都市では様々な機能を利用可能であるという都市特有のメリットが享受できる一方で、集中による混雑という都市のデメリットも存在する。そこで、よりよい都市を構築するには、このような都市のデメリットである都市問題の解決が不可欠となる。

ゼミナールⅠ・Ⅱでは、都市問題(実際には都市を含むより広範な地域問題も含む)の解決のために必要な専門的知識・能力を様々な演習・講義を通して身に付け、都市問題の解決方法を提案することを最終的な目標としている。

ゼミナールⅠ・Ⅱを通した目標

- ・(都市・地域で生じる)問題を正しく把握する能力
- ・(都市・地域で生じる)問題の原因を解明する能力
- ・(都市・地域で生じる)問題の解決方法を発見する能力・問題の解決方法を評価する能力
- ・(都市・地域で生じる)問題の解決方法を第三者へ正しく伝達する能力

【授業計画】

第1回 都市・地域の経済分析へのアプローチ1(都市の問題点や特徴を客観的事実に基づいて説明する)

第2回 都市・地域の経済分析へのアプローチ2(都市の問題点や特徴を客観的事実に基づいて説明する)

第3回 都市・地域の経済分析へのアプローチ3(都市の問題点や特徴を客観的事実に基づいて説明する)

第4回 都市・地域の基礎知識の学習1(文献購読によって都市経済学の基礎概念を理解する)

第5回 都市・地域の基礎知識の学習2(文献購読によって都市経済学の基礎概念を理解する)

第6回 都市・地域の基礎知識の学習3(文献購読によって都市経済学の基礎概念を理解する)

第7回 都市・地域の基礎知識の学習4(文献購読によって都市経済学の基礎概念を理解する)

第8回 都市・地域の基礎知識の学習5(文献購読によって都市経済学の基礎概念を理解する)

第9回 都市・地域の経済分析の基礎1(都市・地域の経済分析に必要な統計分析手法を実践する)

第10回 都市・地域の経済分析の基礎2(都市・地域の経済分析に必要な統計分析手法を実践する)

第11回 都市・地域の経済分析の基礎3(都市・地域の経済分析に必要な統計分析手法を実践する)

第12回 都市・地域の経済分析の実践1(所与のテーマに基づいた都市・地域の経済分析を行う)

第13回 都市・地域の経済分析の実践1(所与のテーマに基づいた都市・地域の経済分析を行う)

第14回 都市・地域の経済分析の実践3(所与のテーマに基づいた都市・地域の経済分析を行う)

第15回 都市・地域の経済分析の実践3(所与のテーマに基づいた都市・地域の経済分析を行う)

【教科書】なし 【参考文献】なし 【評価方法】出席状況、課題提出などによる総合評価

【履修の条件】なし 【聴講生・科目等履修生受入】否 【他学科生・他専攻生受入】否 【他学部生受入】否

【当該科目に関連する開設科目】なし 【使用言語】日本語

【担当者からの一言】ゼミでは知的関心に基づいた能動的な参加が必要です。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎	他者の立場と痛みを感じる力	○
本質を理解する力	◎	意志や情報を発信する力	○
論理的に考える力	◎	自ら行動する力	◎
多様性を理解する力	◎	自己を受け止める力	○
チームワークよく成し遂げる力	◎	自己反省する力	○
様々な人と対話する力	◎	自信を生み出す力	○